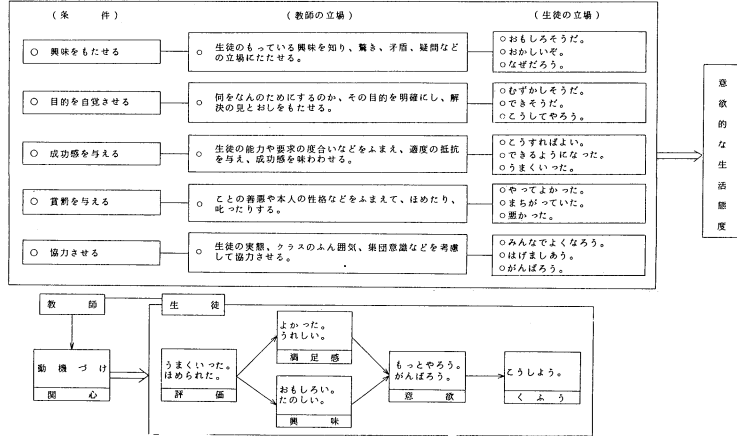


○ 意欲的な生活態度を育てるための手だて

図 1



そこで本校では、発表力を高めるための教師の指導援助の糸口をつかむために生徒の実態調査を行った。それによると、

① 教科や学級活動時の発言状況は指名されると意見や答えをいう

三七・七%

- 時々手をあげて答える三五・四%
- 積極的に発言できない原因は自分の考えがまとまらない 七〇・八%
- 思っていることが言葉にならない 五一・六%
- 人前で話すのが恥ずかしい 四八・三%
- 堂々と発表できるようになりたい 八〇・七%
- 発表力を高めるには ③ 人の発表や答えを笑ったりけちをついたりしない 五〇・三%
- 質問の意味がわかるようにしてほしい 四五・六%
- 考える時間がほしい 三一・一%
- 以上からわかるように、多くの生徒は堂々と発表できるようにになりたいと思っているが、実際には、積極的な態度で発表していない。その理由として考えをまとめて発表することができないことにあるようである。そこで本校では、まだ検証の段階まではいっていないが次のような対策をとって指導に当たっているのを参考に供したい。
- 発表の機会を多くし、質問の程度を吟味しながら多くの生徒に発表させる。
- 討議学習や小集団学習を組織した授業を多くする。
- 自由でのびのび発表できる好ましい学級づくりをする。
- 教育相談により無口な生徒にも発表できるように援助する。

図 2 自己診断票

1. 氏名 (昭和 年 月 日生)	2. 担任	1 年 組	2 年 組	3 年 組
身長	cm	1年	2年	3年
体重	kg	1年	2年	3年
視力	右 左	1年	2年	3年
歯	本	1年	2年	3年
色	本	1年	2年	3年
問題点	1 年 2 年 3 年			
性格	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>(1年) 自主性 計画性 責任感 協働性 発表力 協力性</p> </div> <div> <p>(2年) 自主性 計画性 責任感 協働性 発表力 協力性</p> </div> <div> <p>(3年) 自主性 計画性 責任感 協働性 発表力 協力性</p> </div> </div>			
行動点	1 年 2 年 3 年			
結果 (進性検査(3年))	6. 進路	希望	問題点	7. 長所 8. 短所 9. 趣味その他

科目	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	問題点
国語																					
数学																					
社会																					
理科																					
音楽																					
美術																					
保・体																					
技・家																					
英語																					

標準学力テスト		生活のめあて						
学年	1	2	3	1	2	3	4	5
国語								
社会								
数学								
理科								
英語								